



HPはこちら

教育学部附属高松小学校

ふぞく新聞

vol.5

台湾からの留学生が
LEGOワークショップを実施しました

LEGOで広がる国際交流の輪

3月17日、6年赤組で「レゴを活用したプログラミング教室」を実施しました。本講座は、香川大学ダイバーシティ理系選択応援プロジェクトの一環として行われ、台湾国立嘉義大学の先生方や大学生の皆さんを講師・支援者としてお迎えしました。児童は、英語による説明や指示を聞き取り、身振りや既習の外国語表現を活用しながらコミュニケーションを図り、友達と協力して活動しました。レゴWeDo2.0を用いて風車や車、動物ロボットなどを製作し、プログラムを工夫して試行錯誤を重ねながら課題解決に取り組む中で、論理的に考える力や創造力を高めるとともに、外国語で伝え合う楽しさを実感できました。

台湾の先生方や学生との交流を通し、プログラミングの魅力だけでなく、多様な文化や価値観に触れることで、国際理解を深める貴重な機会となりました。



英語で指示を聞いたから、正しく部品を組み合わせられるかな。友達と協力して解決したいな。



「Is this OK?」と確認しながら組み立てると何とか完成しそう。どんな指示を命令してみようかな。



指示通りに動いたよ。台湾の人たちのように、プログラミングをもっと活用できるようになりたいな。

香川県の
命を守っていますKUH 香大病院
PAPERはこちら救命救急センター
センター長かわまた けんや
河北 賢哉 教授

健康の窓

医学部附属病院

救命救急センター編 救命医療の「最後の砦」

香大病院の救命救急センターは、脳卒中、急性心筋梗塞、多発外傷など、生命の危機が差し迫った状態の患者さんに対して高度な医療を24時間体制で提供しています。近年では香川県にドクターヘリが導入されました。医師が直接現場へ向かい、治療を開始しつつ離島の患者さんを搬送できるようになり、「最後の砦」となっています。

Instagramは
こちら

教育学部附属坂出小学校

命とマナーを守ります！ 地区別児童集会 (JR組)



JR坂出駅・駅長さんにお話を聞きました

附属坂出小学校の子供たちのうち約40%が通学にJRを利用しています。1年生から電車に乗って自分の力で登校するよう学校もお願いしています。

そのため毎年3月には、電車の乗り方やホームでの待ち方を練習する子供たちや、登校する子供たちで坂出駅は混み合います。その様子を見守る駅長さんらから子供たちへ「安全に1年間登校するために」と、新年度4月にお話をいただきました。

いつも優しく改札口で挨拶をしてくださる駅長さんからお話を聞いた子供たちは、「やっぱり命とマナーは守らないと！」と意識を新たにしました。